

シミュレーションで目指すべき目標と評価、学習要素・学習環境とは

領域	どんな事例	どんな場面	どんな行動ができる
基礎看護	脳梗塞など血圧コントロール必要な患者	リハビリのあとに血圧上昇	優先順位を考えてバイタルサイン測定ができる。正確に血圧測定ができる。随伴症状を観察できる。測定値と測定値が示す意味、アセスメントしたことを報告できる。その後の行動（再検、観察など）を考えられる（実施する）。
基礎看護学	「胸が苦しい」と訴えている患者さん	呼吸苦による「胸が苦しい」のか循環器系が原因による「胸が苦しいのか」をアセスメントするために必要な気づきに結びつける	バイタルサインの測定の必要性に気がつくことができる 呼吸のフィジカルイグザミネーションが実施できる 循環のフィジカルイグザミネーションが実施できる
基礎看護学	フィジカルアセスメント：腹痛	腹痛を訴えて初めて受診	安楽な体位保持のための援助、問診、バイタルサイン測定、学習した技術を使って何が起きているかを考察して記述できる
基礎看護学	高齢者で肺炎で入院中だが、近々退院予定	酸素吸入中、輸液ルート挿入中の寝衣交換と、離床を促すような場面	輸液ルートを扱い、寝衣交換して、酸素をポンベに切り替えて、歩いてみる。
基礎看護学領域	脊柱管狭窄症と糖尿病にて尿閉となった事例 ※本事例は看護過程の展開をさせたうえで行わせています。	CICが必要な患者のトイレ移動場面（すり足、腰痛、ふらつきあり）	③の場面の行動から転倒予防の行動ができる（患者の横によりそうなど）
基礎看護学領域	清拭	病名は脳梗塞の患者(麻痺がある)	麻痺側を考慮する たとえば、寝衣交換が正しくできる 患側の腕を背面に巻き込まないなど
小児看護学	気管支喘息の中発作	発作の観察からその程度と援助を考える	まず、五感で観察できる
小児看護学	病棟実習で一番遭遇しやすい事例 (幼児、点滴or中心静脈管理、清潔ケア、排泄、食事介助などが必要)	点滴管理しながらの清潔ケアの場面	清潔ケアが適切にできる、点滴刺入部やルート管理ができる

領域	どんな事例	どんな場面	どんな行動ができる
小児看護学領域	川崎病の回復期	心エコー検査	患児の発達段階に合わせたプレパレーション、ディストラクションができるか
小児看護学領域	食物アレルギー負荷試験	検査開始後、30分で皮膚掻痒感が出現	アレルギー症状を観察し、アナフィラキシーショックのリスクを判断、報告することができるか
小児看護学領域	気管支喘息	ベッド上で、飛び跳ねている。喘鳴がある。母親は不在。3歳	子どもに声かけができる。おもちゃで遊ぶ。指導者に報告ができる。
小児看護学領域	幼児の喘息 中発作～回復	不機嫌で具合の悪い子どもの状態から、元気になってこちらの指示が通らない子どもへの関わり 点滴が嫌で自己抜去の恐れがあったり、元気になって転倒転落の恐れがある子どもへの関わり	その子にあった関わりとして、成人への関わりのようなものではなく、あやしながら検温をすとか、遊びながら関わっていけるようなことも看護であることを知ってもらえるように
成人（急性）	肺切除術後1日目	痛くて辛そうな表情、咳をこらえている、SpO2低下	看護師に報告できる（ISBAR難しくてもSpO2低下を伝えられる）
成人（急性）	脳腫瘍術後2～3日目	初回離床時にふらつきあり	状態確認（意識あるか、変化した際の症状）すぐに誰かを呼べるか
成人看護	悪性リンパ腫で初回R-CHOP療法	寒気を訴えてきた	患者ケア・不快症状の軽減、バイタルサインの聴取とアセスメント、ISBARでの報告
成人看護	環境整備	実習中の受け持ち患者さんの環境整備	危機管理の観点から環境を整える
成人看護学	胆管摘出術後患者	術後の観察から離床まで	術後の観察ができSBARで報告できる、段階を踏んだ離床が行える
成人看護学	手術直後の患者	手術室から病室に戻った場面	術後のバイタルサインの測定、手術侵襲、麻酔侵襲を踏まえての観察
成人看護学もしくは統合実習前の4年生	急性心不全で安静度を拡大している患者	トイレで排便後の呼吸困難感出現	教員や看護師にSBARで報告できる

領域	どんな事例	どんな場面	どんな行動ができる
成人看護学慢性期	脳梗塞患者で右片麻痺があり、左健側上肢に点滴がある患者さんに対しての寝衣交換		患者の臨床推論を行い、優先順位を考え、寝衣交換できる。
成人看護学領域	急性心筋梗塞PCI治療後1日目	10時のバイタルサイン測定	PCI後1日目に起こりうる合併症を予測し、必要な観察ができる 観察した結果から患者に変化が起きているかどうか、判断ができる 観察した結果を踏まえてSOAPに記録できる。
成人看護学領域	胃切除手術を受けた事例	手術室から帰室後の状態観察	全身麻酔の影響を観察することができる
母性看護	体重増加不良、黄疸増強のある新生児	哺乳中に眠ってしまう様子がある	新生児が授乳に適した状態かどうか確認できる
老年看護学領域	独居の高齢者が転倒し大腿骨頸部骨折をした。退院後も自宅に帰ることを望んでいる。	家族は、独居は無理なのではないか、施設入所を望んでいるが本人はあくまでも自宅に帰りたい。	どのような社会資源があればこの方は自宅に帰れるのか。自宅あるいは施設入所になった場合でもこの方に必要な看護支援は何か考えられる。